



社 協 報

令和8年7月22日

No.99

ふれあいネットワーク

社会福祉法人
南木曽町社会福祉協議会
木曽郡南木曽町田立143-1
TEL 0573-75-5516

なぎと

いきいきサロン交流会

～人生100年時代！座って楽しく健康づくり講座～



スプリングコンサート♪



ヴァイオリンの豊かな音色とピアノのハーモニーが響きわたるデイサービス♪

4 在宅福祉サービスの推進

- 認知症総合支援事業の実施（認知症カフェの開催、サポーター養成講座、講演会の開催）
- 家庭介護教室（家族介護指導）の開催
- 在宅介護者の集い（介護者リフレッシュ）の開催

5 福祉教育・ボランティア活動及び青少年健全育成の推進

- 児童・生徒の福祉体験学習の推進
- 地域ボランティアの育成、研修会の実施
- ボランティア活動のネットワークづくり、交流の促進
- ボランティア送迎事業の実施
- ボランティアセンター機能の充実
- 青少年健全育成運動の推進、活動支援
- 家族ふれあい料理教室等の開催
- 災害ボランティア養成研事業の実施

6 障がい者福祉事業の推進

- 就労継続支援 B 型ひだまり工房の運営 定員 15 名
- 障がい者訪問介護、重度訪問介護、生活支援事業（ホームヘルパー基準該当サービス）の実施
- 障がい者相談支援特定事業所の運営
- 障がい者・家族等の交流事業（希望の旅）の実施

7 相談事業の推進

- 日常生活自立相談事業の実施（福祉に関する困りごと等の相談）
- 成年後見人制度に関する事業の実施
（法人成年後見事業の実施 成年後見に関する相談支援）
- 相談支援事業（認知症・心配ごと相談・弁護士無料相談）の実施

8 情報発信、交流事業の推進

- 社協報なぎその発行
- ひだまり工房による、ひだまり通信の発行
- 南木曾町社会福祉大会の開催
- ホームページによる情報発信

9 住民の生活向上、支援事業の推進

- 権利擁護活動の推進
- 民生金庫貸付事業の実施
- 生活改善推進要項の啓発推進
- 日常的金銭管理サービス事業の実施
- 特例貸付のフォローアップ支援
- 生活福祉資金等の貸付事業への対応
- 苦情に関する第三者委員会の適正な運営

10 共同募金運動の推進

- 町募金委員会活動の事業推進
- 募金運動の向上に向けた取り組みの展開
- 募金活用状況に関する積極的な PR 活動

11 その他の活動

- 地域福祉に関する調査、研究

令和 8 年度 南木曾町社会福祉協議会事業計画

【基本理念】

私たちは地域で支え合う明るい福祉のまちづくりに貢献します。
私たちは地域のニーズに応える健全な福祉サービス事業を推進します。
私たちは笑顔と向上心をもって地域課題、組織づくりに取り組みます。

【目標】

地域の支え合い、ふれあい活動を高め、地域福祉の向上に取り組みます。

【運営方針（抜粋）】

1 法人運営

- 制度改革に対応した、理事会、評議員会の運営
- 会費収納事務
- 民生児童委員、人権擁護委員、保護司、行政相談員等との連携強化と相互活動支援
- 社会福祉法人会計基準に準拠した会計処理

2 地域福祉活動の推進

- 地域支え合い事業の実施（担い手育成、協力者組織化）
- 紙おむつ購入経費助成事業の実施
- 地域ふれあいサロン事業への支援、助成
- 寝たきり老人等の福祉移送サービス事業の実施
- 一人暮らし老人等に対する給食サービスと安否確認事業の実施
- 障がい者の外出活動への支援
- 地区敬老会経費助成事業の実施

3 介護保険事業の推進

- コンプライアンス（法令遵守）のための業務管理体制の整備
- 居宅介護支援事業の運営
- 介護サービス計画作成、相談及び支援
- 通所介護デイサービスセンターの運営 定員 40 名（共生型・総合事業 5 名含む）
- 共生型・介護予防・日常生活総合事業の運営 定員 5 名
- 訪問介護ホームヘルプステーション基準該当サービスの運営
- 苦情解決に関する第三者委員会の開催
- 次期介護保険計画策定に向けた取り組み
- 認定調査事業の受託

令和 8 年度一般会計予算

(資金収支計算書の事業活動による収支)

事業活動収入 (単位:千円)			
区 分	予算額	前年度	増減
会費収入	1,850	1,850	0
経常経費補助金収入	25,118	22,317	2,801
受託金収入	27,186	27,324	△ 138
事業収入	1,448	1,448	0
介護保険収入	133,982	136,668	△ 2,686
就労支援事業収入	15,700	16,250	△ 550
障害福祉サービス等事業収入	1,386	1,240	146
その他	303	303	0
合 計	206,973	207,400	△ 427

事業活動支出 (単位:千円)			
区 分	予算額	前年度	増減
法人運営事業	21,942	18,081	3,861
地域福祉推進事業	36,170	34,234	1,936
共同募金分配金事業	2,058	2,009	49
訪問介護事業	10,884	9,344	1,540
デイサービス事業	89,588	92,931	△ 3,343
居宅介護支援事業	28,451	28,485	△ 34
ひだまり工房等事業	27,148	29,075	△ 1,927
合 計	216,241	214,159	2,082

◎会費は次の事業の一部に使われます。

- ・地域福祉推進事業
地域生活支え合い事業、企画広報事業、ボランティア活動事業、日常生活自立支援事業、法人成年後見事業、心配ごと相談事業、認知症総合事業等
- ・共同募金分配金事業
いきいき地域福祉活動（サロン・敬老会）、紙おむつ助成、ふれあい料理教室、福祉大会等

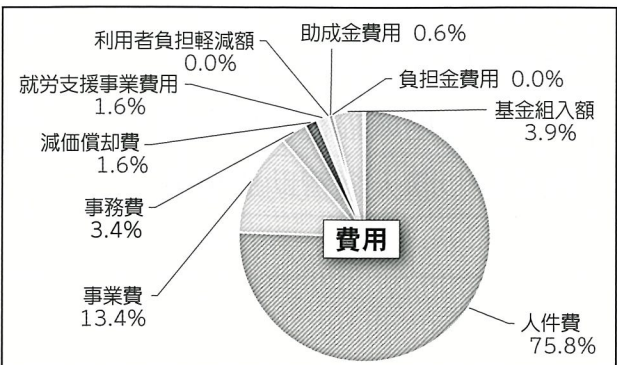
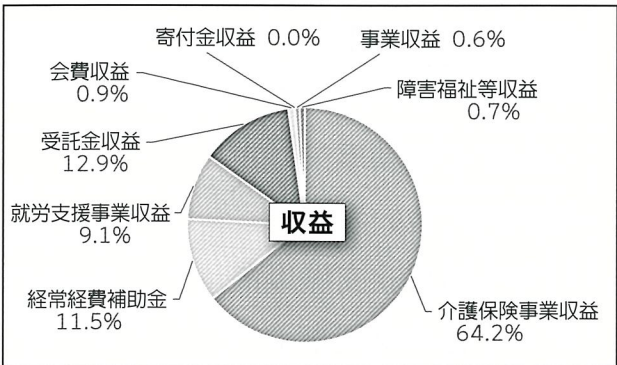
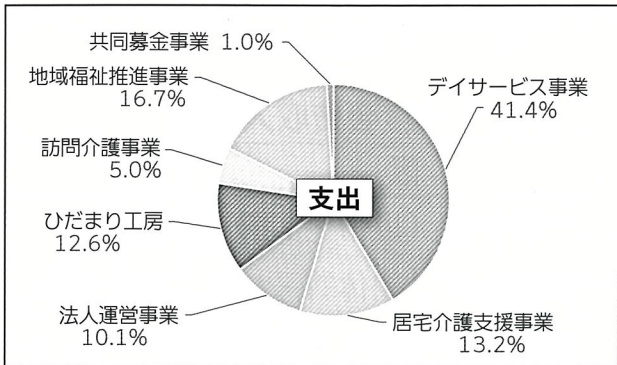
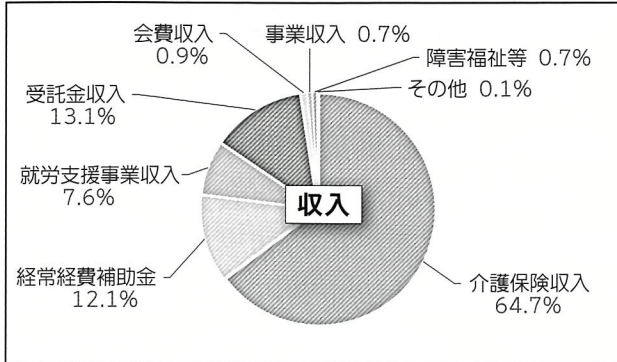
令和 7 年度一般会計決算

(事業活動計算書サービス活動増減の部)

収入合計	204,774	(単位:千円)
支出合計	225,790	
差引残高	△ 21,016	(サービス活動増減差額)

サービス活動収益 (単位:千円)			
区 分	決算額	前年度	増減
会費収益	1,748	1,823	△ 75
寄付金収益	86	137	△ 51
経常経費補助金収益	23,583	20,704	2,879
受託金収益	26,394	22,204	4,190
事業収益	1,306	1,069	237
介護保険事業収益	131,536	136,040	△ 4,504
就労支援事業収益	18,659	16,609	2,050
障害福祉サービス等事業収益	1,462	1,275	187
合 計	204,774	199,861	4,913

サービス活動費用 (単位:千円)			
区 分	決算額	前年度	増減
人件費	171,145	182,112	△ 10,967
事業費	30,265	32,673	△ 2,408
事務費	7,654	7,043	611
就労支援事業費用	3,506	2,980	526
利用者負担軽減額	69	39	30
助成金費用	1,295	1,307	△ 12
負担金費用	0	0	0
基金組入額	8,751	6,137	2,614
減価償却費	3,661	3,887	△ 226
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 556	△ 170	△ 386
合 計	225,790	236,008	△ 10,218



南木曽町社会福祉協議会役員名簿・報酬等

令和 8 年 7 月 1 日現在

※理事：8 名～ 11 名

(任期：令和 9 年度第 1 回評議員会まで)

役 職 名	氏 名	団 体 ・ 役 員 等
会 長	長 渕 英 治	学識経験者
副 会 長	青 木 太 吉	民生児童委員協議会長
理 事	勝 野 忠	三留野地域振興協議会長
〃	古 井 繁 幸	田立地域振興協議会代表
〃	中 島 豊 子	なぎそ・おたすけ隊代表
〃	古 田 正 一	N P O 法人なぎそ福祉会代表
〃	矢 澤 和 重	身体障がい者福祉協会代表
〃	大 屋 か お り	地域福祉活動団体代表
〃	長 渕 充 章	老人クラブ代表
〃	志 水 み ち 代	公民館長
〃	向 井 庄 司	南木曽町副町長

(役員・評議員等報酬)

会長・理事・監事・評議員の報酬	
会 長	月額 80,000 円 ・交通費、夜間休日の 会議及び行事含む ・賞与なし
理事・監事	会議に出席した場合 ・1 回 4,000 円 ・交通費含む
評議員	会議に出席した場合 ・1 回 4,000 円 ・交通費含む

※監事：2 名

(任期：令和 9 年度第 1 回評議員会まで)

役 職 名	氏 名	団 体 ・ 役 員 等
監 事	樋 口 信 雄	学識経験者
監 事	木 村 和 恵	学識経験者

※評議員選任・解任委員会

(任期：令和 1 1 年 3 月 1 1 日まで)

氏 名	団 体 ・ 役 員 等
郷 原 義 勝	学識経験者
平 林 輝 雄	人権擁護委員
樋 口 信 雄	社協監事
木 村 和 恵	社協監事
麻 生 正 道	社協職員

※評議員：15 名～ 24 名

(任期：令和 1 1 年度第 1 回評議員会まで)

氏 名	団 体 ・ 役 員 等	氏 名	団 体 ・ 役 員 等
伊 藤 寿 子	町議会副議長	角 野 千 津 子	民生児童委員
松 下 幸 一	南木曽町教育長	伊 藤 則 雄	民生児童委員
大 沢 謙 一	南木曽商工会長	中 原 津 々 子	手をつなぐ育成会会長
丸 野 晃	与川地域づくり協議会代表	小 幡 由 紀 子	母子寡婦福祉会会長
川 井 清	北部地域振興協議会代表	大 脇 和 樹	木曾あすなろ荘代表
柴 原 智 代	妻籠地域振興協議会代表	田 口 義 廣	老人クラブ代表
小 原 一 彦	蘭地域振興協議会代表	伊 東 や す 子	地域ボランティア活動グループ代表
志 水 保 仁	広瀬地域振興協議会代表	石 垣 よ し 系	地域ボランティア活動グループ代表
鈴 木 文 子	保護司代表	松 原 岸 子	利用者家族代表

※心配ごと相談員

(任期：令和 9 年 3 月 3 1 日まで)

氏 名	団体・役員等	氏 名	団体・役員等	氏 名	団体・役員等
長 渕 英 治	人権擁護委員	白 金 登 志 代	民生児童委員	松 原 正 典	保護司
岡 田 早 苗	人権擁護委員	伊 藤 ま つ み	民生児童委員	古 川 光 弘	保護司
平 林 輝 雄	人権擁護委員	松 原 恭 子	民生児童委員	鈴 木 文 子	保護司
勝 野 忠	行政相談委員	岡 庭 眞 理 子	民生児童委員	久 保 尻 千 鶴 美	保護司

令和 7 年度 特別会員

敬称略・順不同

(有) アサイ あぶらや (有) アララギ青木商会 伊藤瓦店 (有) イマル自動車 栄光自動車鈑金 永徳屋 小倉建築設計事務所 小幡コンクリート工業 (株) お食事処 音吉 笠の家 (株) 勝野木材 川阪建築 木曽五木工芸社 木曽自動車販売 (株) 木曽林材興芸 (株) 木下建設 (株) 南木曽営業所 好日珈琲 (株) (株) 小島塗装工業所 金剛屋 医療法人 篠崎医院	志水木材産業 (株) シンエー電気 J A 木曽南部支所 世紀東急工業 (株) 木曽営業所 大宗土建 (株) 田口自動車鈑金塗装 タザワ電機南木曽店 田丸屋 等覚寺 (有) 中島工業 (有) 中島商店 (有) 中島石油店 永井建築 ナガトモ電設 (株) 南木曽観光タクシー 南木曽商工会 (有) 南木曽生コン工場 南木曽発条株式会社 (株) 二三石油 西尾板金 (有) 野原工芸	八十二長野銀行 南木曽支店 (有) 土生都組 フラワーショップ まつした 床浪観光開発株式会社 (有) 松瀬組 (有) 松瀬工務店 (有) 松田保険事務所 (株) 松山建材 (有) 丸信工機 (有) ミツイシ 三石建材 三留野土建 (株) みはらや 株式会社ミヤティック (株) 名工土木 (有) ヤマカ木材 山崎隆二行政書士事務所 山下屋商店 吉村電気商会 社協事務局長 麻生正道
--	---	--

令和 7 年度 賛助会員

敬称略・順不同

青木百貨店 茶房 糸びや おんたけ交通 (株) 南木曽営業所 原ベーカリー タイヤポート アオシマ 田上民芸 南木曽町森林組合 はんだ屋 藤原木工所 (有) 藤乙	松代屋旅館 ヤママン商店 南木曽町 身体障害者福祉協会 南木曽町 手をつなぐ育成会 南木曽町 民生児童委員協議会 行政書士 北原泰雄 保護司 古川光弘 保護司 鈴木文子 保護司 久保尻千鶴美	今井 豊 大宮 直人 郷原 義勝 林 利光 三浦 良道 松瀬 義一 杉井 智佐子
--	---	--

社協会費 ご協力のお礼

町内の世帯・団体等の皆様に協力会員となつていただくことで、会費が社協の取り組む社会福祉事業、地域福祉の推進のための貴重な基本財源となっています。

皆様からいただいた会費は、地域の皆様が参加し、ともに支え合う福祉のまちづくりを実現するための諸事業に活用させていただきます。

今後とも社協会費へのご理解ご協力をお願いいたします。

また、一般会費のとりまとめにあたっては、毎年、各区長さんをはじめ役員の皆様に大変お世話になり、感謝申し上げます。

○令和 7 年度会費収入状況

区 分	件 数	金 額
一般会費 (世帯・1 口 1,000 円)	1, 3 1 6 件	1, 3 1 6, 0 0 0 円
特別会費 (団体等・1 口 5,000 円以上)	6 2 件	3 4 5, 0 0 0 円
賛助会費 (個人・1 口 2,000 円以上)	2 6 件	8 7, 0 0 0 円
合 計		1, 7 4 8, 0 0 0 円

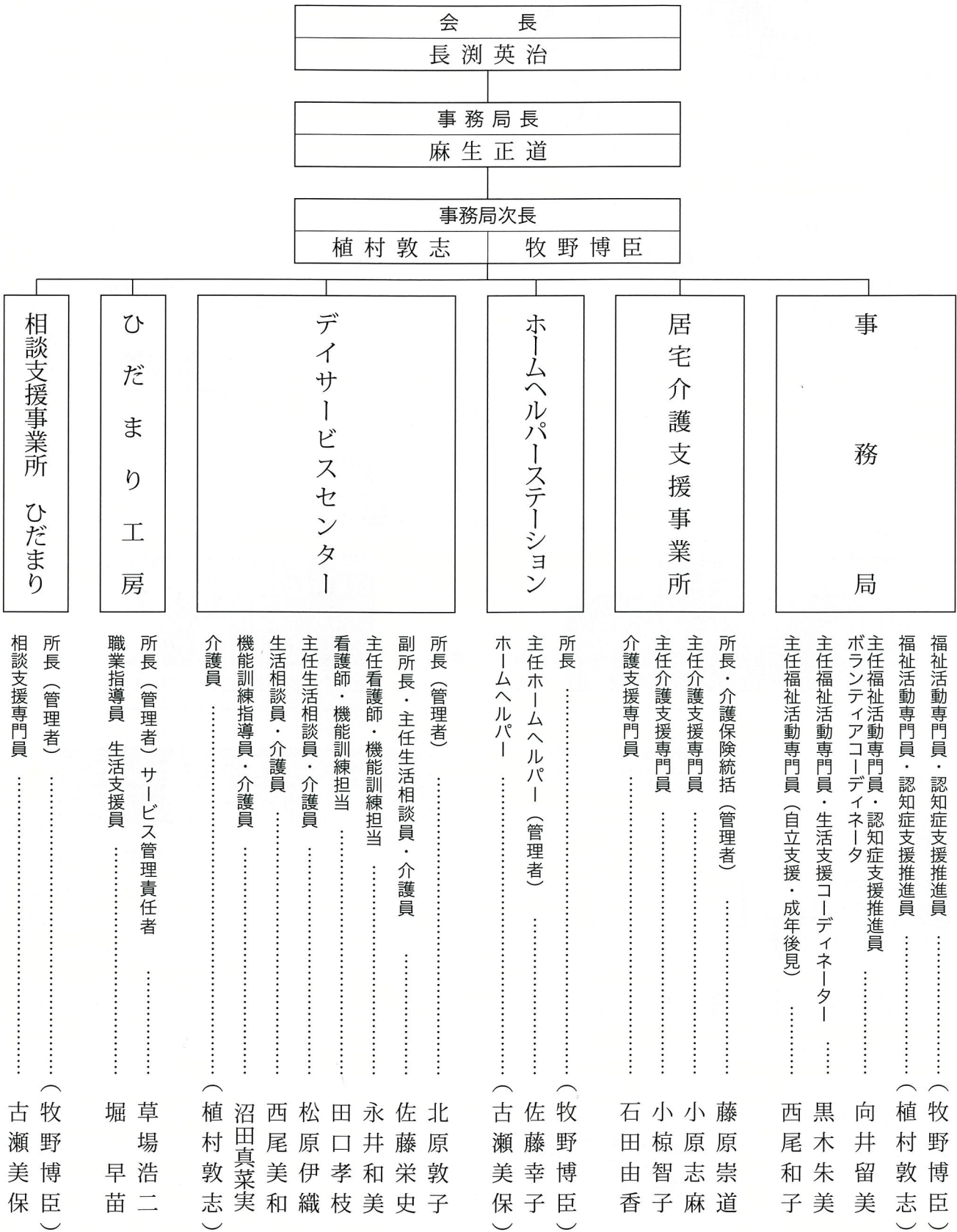
令和 7 年度の会費収入は、次のように活用させていただきました。

○令和 7 年度会費充当事業

区 分	金 額	備 考
社協広報発行事業	4 2 6, 0 0 0 円	
ボランティアセンター活動事業	2 1 6, 0 0 0 円	
心配ごと相談事業	4, 0 0 0 円	
地域支え合い事業	1 1 4, 0 0 0 円	
日常生活自立支援事業	4 2, 0 0 0 円	
認知症総合支援事業	7 3, 0 0 0 円	
成年後見事業	9 9, 0 0 0 円	
南木曽町社会福祉大会	3 2 5, 0 0 0 円	
いきいき地域福祉支援事業	2 1 9, 0 0 0 円	サロン・敬老会
紙おむつ購入経費助成事業	2 3 0, 0 0 0 円	
合 計	1, 7 4 8, 0 0 0 円	

社会福祉法人 南木曾町社会福祉協議会 職員体制

令和 8 年 4 月 1 日現在



赤い羽根共同募金運動報告

1 募金活動

町共同募金会（事務局：南木曾町社会福祉協議会内）により実施された令和 7 年度の募金は、目標額を 1 5 0 万円とし、区長さんはじめ町内の多くの皆さまのご理解とご協力を得て取り組むことができました。
ありがとうございました。

○令和 7 年度募金実績

区 分	件 数	金 額
戸別募金	1,459 件	783,420 円
法人募金	43 件	225,670 円
その他募金	—	35,602 円
募 金 総 額		1,044,692 円



2 配分金活用事業

共同募金配分金は、地域福祉のための事業の財源として活用されています。
（募金実績額の約 8 割が翌年度に長野県共同募金から町社協へ配分金として交付されます。）

令和 7 年度の配分金額は 8 9 0, 7 5 4 円で、社協が取り組む次の事業にあてさせていただきました。

○令和 7 年度配分金充当事業

区 分	事 業 費	配 分 金	備 考
南木曾町社会福祉大会	483,071 円	188,754 円	
紙おむつ購入経費助成	459,952 円	75,000 円	
ふれあい料理教室	59,688 円	67,000 円	
いきいき地域福祉支援	717,470 円	460,000 円	サロン・敬老会等
地域づくり支援事業	30,000 円	100,000 円	
合 計	1,750,181 円	890,754 円	

いきいきサロン交流会開催

～イスに座ったままできる健康イス体操を行う
参加型講演会～

令和8年3月3日(火)、地域のサロンが一同に会す、いきいきサロン全体交流会を南木曾会館ホールにて開催しました。大人のための体操のお兄さんこと、ごぼう先生(築瀬寛氏)を講師にお招きし、日常生活の中で無理なく続けられる運動や、健康維持の大切さについてご講演いただきました。実際に一緒に体を動かしながら分かりやすい体操指導も行われ、会場は終始笑顔と活気に包まれました。

参加者の皆さんからは「出来なくていいから楽しむことが1番大事」という言葉が心に沁みたといい声が多く、楽しむことや健康づくりへの意識の高まりが感じられる有意義な時間となりました。



ごぼう先生直伝

健康意識の5つのキーワード

1. テクテク (運動)
2. モグモグ (食事)
3. ワクワク (趣味)
4. コツコツ (継続)
5. ドキドキ (期待)

地域生活支え合いの会 なぎそ・おたすけ隊交流会開催

5月29日(金)、協力会員の交流会を開催しました。16名の参加者が4つのグループに分かれ、自己紹介や日頃の活動での課題を出し合い、意見交換を行いました。



日々の暮らしの中のちょっとした困りごとを手助けして下さる担い手さん達が、無理することなく、自身の仲間作りや生きがいに繋がるような会になることが大事だと感じました。



ボランティアカフェ『米袋エコバック』

6月18日(木)妻籠町並み交流センターにて開催しました。安曇野市から降幡亜希さんを講師にお迎えし、普段は捨てられてしまう米袋を活用して、環境にやさしいアップサイクルに取り組みました。皆さん初めてで苦戦していましたが、参加者同士で教え合いながら丈夫で実用的なマイバックを制作しました。「米袋がこんなにオシャレなバックになるなんてビックリ!」「忘れないうちにサロンで作ってみたい」という感想をお聞きすることができました。

ちよつとひと息
シリーズ2

季節食として5/18～20は昼食に朴葉寿司、5/21～23はおやつに朴葉巻を提供しました!皆さん、「ここに来ると懐かしい味や季節を味わえて嬉しい」と喜ばれました。



デイサービスセンター

スプリングコンサート
in デイサービス

5月16日(土)、ヴァイオリニストの大谷康子さんとピアニストの小山さゆりさんがデイサービスセンターに来所してくださいました。

多くの方が耳にしたことのあるクラシックの名曲をはじめ「木曾節」や「信濃の国」など全9曲を披露してくださいました。利用者の皆さんは自然と歌を口ずさみ手拍子を送りながら、素敵な生演奏に聴き入っていました。



職員が育てたバラでバラ風呂にしました。華やかな香りに包まれ、優雅な気分になりました。

壁面ギャラリー



春になり、木曾馬に家族が増えました。



藤や新緑も咲き誇っています。

傾聴ボランティアの皆さんに
お越しいただきました!

昔の思い出や趣味の話などに優しく耳を傾けてくださり、笑顔あふれるひとときとなりました。



利用者様からは「また来てほしい!」と喜びの声が聞かれました。次回も楽しみにしています。



ひだまり工房



4月9日(木)町内お花見ドライブをしました。与川の新しい名所「ふるさと展望広場」景色がよくて癒されました。

6月24日(水) お楽しみレクリエーション

恵那方面へお出かけし食事とショッピングを楽しみました。ハンバーグ、サラダのビュッフェで満腹。大好きな買い物ではお店に入るとワクワク😊「これ欲しいな〜」「これにしようかな〜」とリフレッシュしてきました〜

ヘルパーステーションの
お仕事って?

いつもお世話になっています。私達は住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていけるよう、日々ご利用者様のご自宅を訪問し生活のサポートを行っています。

内容: { 掃除や洗濯、調理などの家事支援
入浴や排泄などの身体介護

利用者ご本人に関わる援助に限られており、同居のご家族の事、ペットのお世話や大掃除を行うことはできません。今後もご利用者様の「ありがとう」の言葉を励みに日々努めて参りますので、よろしくお願い致します。

居宅介護支援事業所 介護者の集い開催

在宅で要介護1以上のご家族を介護されているご家族を対象とした「家庭介護支援事業」を開催しています。本年度は深青水墨画教室主宰 藤田みさおさんを講師にお招きし『描いてみよう、やさしい墨彩画』を町内4会場にて行っています。

参加者の皆様は、絵を描くのは苦手、緊張して手が動かないと言いながら描きはじめましたが、完成した作品はそれぞれの人が豊かに表現され、日常にはないひとときを過ごす事ができたという感想をお聞きすることができました。



- * 6月12日(金) …… 妻籠町並み交流センター
- * 6月25日(木) …… 三留野分館
- * 7月4日(土) …… 田立
(地域コミュニティ施設のどか)
- * 7月22日(水) …… 南木曽会館



ほっとカフェ

子どもから大人まで幅広い年代の参加や他地区からの参加もあり…お喋りがとても盛り上がり楽しく交流しています。どこの会場でもお気軽にお出かけください。



認知症フォローアップ研修会開催

3月12日(木) 認知症サポーター養成講座を受講された方対象のフォローアップ研修会を開催しました。講師に飯田病院の寺澤美加看護師(認知症看護認定看護師)をお招きし、認知症の正しい理解の振り返り、認知症の方との関わり方をわかりやすく講義して頂きました。事例検討ではグループに分かれ、当事者と介護者の気持ちに寄り添った意見交換が行われました。少し難しかったという意見もありましたが、大変勉強になったという感想もあり、今後認知症の方と関わる際に活かしていける講座になったと感じました。



令和8年度 南木曽町社会福祉大会

開催日時 令和8年11月15日(日)

会場 南木曽会館

※内容など詳細につきましては、後日お知らせします。

あたたかなご厚志 ありがとうございます

令和8年3月～6月受付分

(敬称略・受付順)

寄付品

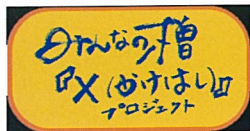
はんだ屋サロン 日室兼美
松瀬義一 可児工芸
ホットサロン川向(伊東やす子)
加藤英幸 藤原厚司
南木曽中学校PTA
深谷登



みんなの木曽「X(かけはし)」プロジェクト!

人口減少が進行する木曽地域では、将来へ向け、人材の確保や暮らしを支えるサービスの継続が共通の課題となっています。

安心して暮らし続けられる地域づくり、ともに支え合う元気な地域づくりのために、私たちに今、何ができるのでしょうか。令和7年10月郡内6町村社会福祉協議会と9民間社会福祉法人、NPO法人が手を携え、休眠貯金助成金を活用した協働事業「みんなの木曽『X(かけはし)』プロジェクト」をスタート。「人とひととのつながりづくり」スポットを当て、木曽地域における『協働』の基盤づくりと、行政、民間、地域が丸となった『協働』による住民サービス検討のシステムづくりを目的とした取り組みを試行しています。



木曽地域協働事業



～「つながりづくり」を始めよう！過疎山間地域の元気な地域づくり～

みんなの木曽『X(かけはし)』プロジェクト



人口減少が進行する木曽地域では、将来へ向け、人材の確保や暮らしを支えるサービスの継続が共通の課題となっています。

安心して暮らし続けられる地域づくり、ともに支え合う元気な地域づくりのために、私たちに今、何ができるでしょうか。令和7年10月、郡内6町村社会福祉協議会と民間社会福祉法人、NPO法人が手を携え、休眠預金助成金を活用した協働事業「みんなの木曽『X(かけはし)』プロジェクト」をスタート。「人とひととのつながりづくり」にスポットを当て、木曽地域における『協働』の基盤づくりと、行政、民間、地域が一丸となった『共創』による住民サービス検討のシステムづくりを目的とした取り組みを試行しています。

『X(かけはし)』プロジェクトコンソーシアム

社会福祉法人王滝村社会福祉協議会（代表団体）
社会福祉法人上松町社会福祉協議会（町村社協連絡会）
社会福祉法人木曽社会福祉事業協会
NPO法人コスモス

◆休眠預金助成事業 コレクティブインパクトで実現する持続可能なまちづくり ◆資金配分団体 甲信地域ローカルイノベーションコンソーシアム（長野県みらい基金、長野県社会福祉協議会、山梨県社会福祉協議会）

◆事業実施期間 令和7年10月～令和10年2月

◇プロジェクト実施の背景

現在、木曽地域では急激な人口減少と高齢化が進行し、2020年から2050年までの将来推計人口では、長野県全体では△23%の減少となる一方、木曽郡全体では△49%とほぼ半数に減少することが推計されています。将来へ向けた地域を支える人材確保を共通の課題として抱える中、過疎山間地域の小規模事業所の事業経営は非常に厳しい経営環境に置かれ、医療、介護サービスの確保をはじめ、子育て、障がい者支援などの福祉サービスや、地域住民の暮らしを支える公私のサービス継続が将来へ向けた大きな課題となっており、福祉、教育、産業、文化など様々な分野での社会資源の衰弱により、地域全体の活力低下が益々顕著になることが懸念されます。また、木曽地域は1,546km²と市郡最大の面積を抱える一方、人口密度は15人/km²と県内平均のほぼ10分の1となっており、人口減少社会における大規模集約化によるスケールメリットや効率化施策には限界があり、独自の地域課題解決への取り組みが必要となっています。

そのような中で、旧来の行政サービス、民間サービス、また機関や地域の垣根を超えた地域全体での連携と協働による地域づくりが、今まさに必要とされており、そのための意識啓発を含めた基盤づくりが求められていますが、双方がメリットを実感できる「Win&Win」の連携や協働は簡単には進まない側面もあり、既存の枠組みやさまざまな障壁に「風穴」を開ける取り組みも求められています。



☆プロジェクトの立ち上げ

令和7年10月15日、上松町でプロジェクト立ち上げ会及び第1回運営委員会を開催。コンソーシアム4団体、郡内社協、長野県社協、協力団体等が一堂に会し、『X(かけはし)』の第一歩を踏み出しました。

◆プロジェクトの詳細はこちら



◎『つながりづくり』がプロジェクトに！

多機関、他分野との協働で、未来へつなぐ『X(かけはし)』を創造

木曽地域における「協働」と「共生」の基盤づくり
「共創」による福祉サービス構築のシステムづくり

◎つながりづくりで「X」算をしよう！

地域とX・・・持続可能な地域づくり

「多様な団体や機関との協働」「町村の枠組みを超えた協働」「行政と地域の協働」etc.

ひととX・・・共生による地域づくり

「福祉の心を育む」「障がい者が主役の地域づくり」「多世代交流」「移住者と地域の協働」「身寄りがなくても安心」「拠点づくり」etc.

文化とX「地域文化の継承」「多文化共生」「地域間交流」etc.

未来とX「こどもたちの未来」「人材確保・人材育成」etc.



◎4つの『壁』に風穴を開けよう！

- ①上下間の壁（国・県等と地方、行政と民間の壁など）
- ②機関どうしの壁（縦割りシステムや縄張り意識など）
- ③地域間の壁（山間地域特有な閉鎖性や町村間の壁）
- ④人とひとの壁（異なる立場への理解、移住者と在住者の壁など）

◇プロジェクトの活動概要

1「新たなつながり」の創出

～未来へつなぐ『X(かけはし)』を増やそう！
「協働」の資源調査、ニーズ発掘＆マッチング等

2「協働」促進に関する普及・啓発活動

「協働」に関する広報PR、『X』モデル企画の実施

3「協働」促進に関する研究・関係づくり

「協働」促進のフォーラム・研修会・交流会の開催
人材確保＆サービス「共創」の協議の場づくり

「協働」＆「共創」を進める 地域づくりかけはしフォーラム

令和8年2月25日
木曽町文化交流センター

木曽地域の未来をともに考え、『協働』と『共創』による地域づくりを推進しようと、第1回「かけはしフォーラム」を開催。郡内の福祉関係者、広域行政、民間事業者や各種団体の皆さんなど65名が参加され、地域の魅力や「協働」の可能性を再確認し、持続可能な地域づくりについて語り合いました。

第1部

ワークショップ

～みんなでやると「楽」になる！～

身近な地域の「X(かけはし)」を探してみよう！



◇講師
日本福祉大学国際学部
大学院教授 吉村 輝彦 先生

まずは「お互いを知る」ことから！
第一部では、互いの活動や「思い」に耳を傾け合い、地域の魅力を再発見。「協働」は、楽しくなければ長続きはしません。「やってみよう」から始めてみよう、さっそく「つながりつく」の第一歩がはじまりました。

第2部

パネルディスカッション

◇コーディネーター

日本社会事業大学名誉教授
大橋 謙策 先生

協働の持つ「可能性」と地域の未来

～ともに支え合う元気な地域づくりをめざして～

現在より3割程度人口減少が想定される2040年。木曽地域の介護、子育て、障がい者支援、私たちの暮らしを支えるサービスはどうなっていくのでしょうか？郡内の福祉関係者や県行政、地域の皆さんが各々の立場で現状の課題や持続可能な地域づくりについて意見を出し合い、「協働」の必要性について一緒に考えました。



王滝村の郷土食（荳胡麻の五平など）を試食

郷土食をツマミに 木曽の未来を語ろう



地域座談会

令和8年2月24日
木曽町／ふらっと木曽

郡内各町村の地域のみなさんが、福祉関係者を交えて「つながり」づくり。異なる業種や立場のみなさん、木曽地域へ移住されたみなさんなどが集い、それぞれの活動や地域への思いを語り合いました。

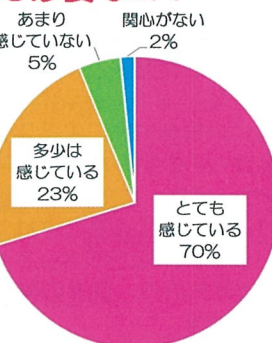
◎「連携」や「協働」って、そもそも必要なの？

◆「協働」による地域づくり意識調査

令和8年1月実施 回答者92名

木曽地域の課題と「協働」に関する意識調査では、8割弱の方が地域全体の担い手不足を課題として挙げられ、医療や生活関連サービスの確保への不安の声が多く聞かれました。また、協働による地域づくりの必要性を「とても感じている」方が、全体の70%にのぼり、異なる組織間や郡内町村間、行政との連携の必要性を強く感じられています。

一方で、半数以上の方が、現在の協働による地域づくりが不十分とされ、縦割り組織や町村間の制度の違いを課題とする意見も聞かれましたが、「顔の見える関係性」だからこそ互いに補い合える地域づくりが期待できるのでは、といった前向きな声も寄せられています。



◆意識調査の詳細はこちら



◆2024休眠預金コレクティブインパクトで実現する持続可能なまちづくり活動報告（長野県社協HP）



◇プロジェクトの名称

「みんなの木曽『X(かけはし)』」

日本文化遺産「木曽路」の文化財でもある中山道の「木曽の棧」の「かけはし」にかけて、地域をつなぐ、未来へつなぐ「X」として、協働の「かけはし」を創造するプロジェクトとして命名。「X」の文字には、協働による多機関、他分野との相乗効果としての掛け算の「X」の意味合いを重ねて名付けられました。



●最新情報はここからご覧ください



『X (かけはし)』プロジェクトコンソーシアム